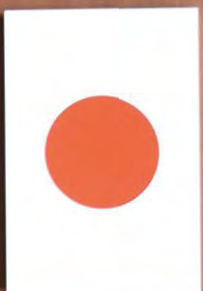


ゆがゆ

議会だより



令和6年
第128号
1月26日発行

なんとかが
未来の議員さん!?



表紙：子ども議会

- ◆ 12月定例会提出議案審議・子ども議会 … P 1～3
- ◆ 一般質問（8議員が市政を問う） …… P 4～11
- ◆ 常任委員会合同視察研修 …………… P 12
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 …………… P 13

12月定例会が12月12日から15日までの4日間の会期で開催されました。村長から提案された条例改正をはじめ、補正予算など、16件が審議されました。また、13日・14日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し佐野村政について問いました。

公共施設等整備調査特別委員会

設置を可決！！

12月
定例会

湯川村の公共施設は、建設から相当の年月が経過している物が多く、建て替えや大規模修繕を必要としている施設が少なくありません。議会として独自に調査・研究を行い、公共施設の整備について「活力ある地域づくり」や「将来に渡る施設の利便性の向上」を含め、様々な提言をしていきます。

議案の主な内容

議案第66号

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○議会議員に支給する期末手当について、年間支給割合を0.1月分引き上げ

現行3.25月分 → 改正後3.35月分

議案第67号

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

○村長及び副村長、教育長に支給する期末手当について、年間支給割合を0.1月分引き上げ

現行3.25月分 → 改正後3.35月分

議案第68号

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○給料月額について公民格差（△0.88% 3,234円）を解消するため、若年層に重点を置きつつ、全ての号給の給料月額を引き上げ（令和5年4月1日から適用）

○期末・勤勉手当について、一般職の年間支給割合を0.1月分、定年前再任用短時間勤務職員の年間支給割合を0.05月分引き上げ（令和5年12月1日より適用）

一般職 現行4.35月分 → 改正後4.45月分

定年前再任用短時間勤務職員 現行 2.30月分 → 改正後2.35月分

議案第72号

令和5年度湯川村一般会計補正予算（第5号）

◇総務費

○企画費 ふるさと応援寄附金充当事業24,000千円を増額

今年のふるさと納税額は12月末現在、寄付件数1,874件、104,519千円

◇農林水産業費

○農業振興費 農業振興基金元金積立金24,000千円を増額（基金残高は216,946千円）

○農地費 多面的機能支払交付金長寿命化補助金16,997千円を計上

◇教育費

○笈川小学校管理費 プール修繕工事設計委託料2,659千円を計上

防犯カメラ等設置工事請負費1,327千円を計上

※勝常小学校・湯川中学校・ゆがわ幼稚園

防犯カメラ等設置工事請負費1,327千円をそれぞれ計上

議員提出議案第4号

公共施設等整備調査特別委員会の設置について

○公共施設等整備に関する調査研究を目的とし、議長を除く8名で構成





(笈川小)

湯川村議會を傍聴して

私は湯川村議会を見学して、思ったことが3つあります。
1つ目は、プールに関して30分以上も話をしてくれたこと
です。私が予想していたものは少子化等難しい話か
と思ったのですが、笑川小学校が長年悩んでいるものに
真ん先に話してくれた事で、すこゝ助力があるなと思いました。
2つ目は、7/7シーに関してでも、私のおはあちゃんも70
代をこえるため、もうそろそろ免許を返さなければいけ
ません。ですから返してしまえば移動手段が無くな。てし
ましたので、私もお母さんにお金を出して、7/7ライドシェア
を考えますと言ってもらい安心できました。
最後に3つ目は、湯川村について最終まで考えてくだ
り、しかも子ども議会でも話をしたものを採用しなから
う。等と話してくれたのがとてもうれしかったということです。

湯川村がこの議会での話合いでも、と良
い村にな。てほしいです。名前【佐藤 叶愛】



(勝常小)

[illegible]

(笈川小)

湯川村議会を傍聴して

湯川村議会を傍聴し、議員さん達が真剣に村のことを話している姿いいなと思いました。村が良くなっていく、進化していく所を間近で見るのがすごくうれしかったです。議員さん達村の問題は色々な所を目指してそこを質問し、話し合いをしていました。この村をより良い村にするための一歩一歩がここでも話し合われ、より良くなっていく、二本はとこも打ちやすい事だと思いました。このような方々がいるからこそ、この村が回っていることを実感できました。自分も莫大に事が進む挑戦して自分を進化させていきたいです。傍聴させていただきありがとうございました。



名前【鈴木佐太】



(勝常小)

[illegible]

湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。

第563回 12月定例会における議員の賛否の公表

議案 番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣川 文夫	伊藤 幸喜	片桐 英子	三澤 榮三	篠竹 正弘	高倉 好博	斎藤 賢一	小沢 甲市	小野 澄雄
66	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
67	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	議長
68	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
69	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
70	湯川村下水道事業の設置等に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
71	湯川村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
72	令和5年度湯川村一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
73	令和5年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
74	令和5年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
75	令和5年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
76	特別功労者の表彰につき同意を求めることについて	同意	斎藤 賢一 氏（三 島）								議長
77	湯川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	大竹 孝 氏（西八日町）								議長
78	湯川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	齋藤信一郎 氏（勝 常）								議長
議員提出 4号	公共施設等整備調査特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出 5号	すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
選任3号	特別委員会委員の選任について	決定	異議なし								議長

＊「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。



10月13日、小学校創立150周年記念事業として、箕川勝常両小学校の6年生8名が議員となり、「湯川村子ども議会」が開催されました。子供たちが普段感じている、「湯川村の問題点」や「将来への提言」等、様々な意見をいただき、活発な議論が交わされました。世代の貴重な意見を村政の参考とし、すべての世代が住みよい村づくりが望まれます。議会では、湯川中学校生徒も含め子ども議会を定期的に開催することを希望し、子供たちの「ふるさとを思う気持ち」の醸成に繋がたいと考えています。

「子ども議会」開催

村政を問う

一般質問

12月定例会

小沢 甲市 議員

村長が掲げている
スローガンについて

問 生まれ変わろう湯川村とは何をどのように変えていくのか、六項目の公約を掲げているが最も重要としている公約を伺う。

答 生まれ変わろう湯川村というのは、豊かで希望が持てる湯川村になることです。

行政の基本は、住民の皆様ご意見に耳を傾けて運営すること考え、多くの方から様々な意見や要望をお聞きして、今、湯川村が抱え

る課題を一つ一つ確認しながら、その解決のために必要な六つの公約を掲げて住民の信任を賜りました。

一つ目は「結婚・子育て支援」です。未婚者対策のための仲人ボランティアによる結婚支援、子育て世代の経済的負担を軽減するための小中学校の学校給食無償化と保育料の無料化、18歳までの医療費無料の継続、在宅育児手当制度の創設。

二つ目は「教育環境の整備」です。児童の減少や施設の老朽化を考慮し、小学校の統合を含め、これからの小学校のあるべき姿についての検討、将来を担う人材育成のため村営学習サポート塾の開設、子ども達の安全を確保するため、教育施設へ防犯カメラの設置。

三つ目は「高齢者支援」です。交通弱者である高齢者のために新たな交通システムを導入、暮らしを守るための移動販売や買い物代行事業などによる生活支援。四つ目は「地域産業の振興」です。スマート農業による活力ある農業の創出と会津湯川ファームへの支援、企業誘致による雇用の場の確保と税収の増加、道の駅を活用した更なる地域振興。五つ目は「住民活動の推進」です。生きがいを持

ちながら参加できるボランティア団体の育成と支援。六つ目は「移住・定住の促進」です。本村の立地条件や生活・教育環境の整備、充実など、更なる魅力の発信。

この六つの公約すべて、どれ一つ欠くことなく着実に実現していくことで、全ての住民が幸せな生活を実感できる「豊かで希望が持てる湯川村」づくりに繋がります。



楽しい給食の時間

(株)会津湯川ファーム
第二期事業計画について

問 今後の事業運営と、農業従事者の高齢化と後継者不足への対応する為の考えを伺う。

答

(株)会津湯川ファームは、担い手農家の高齢化や後継者不足による耕作困難な農地を継続的に営農できるように、設立目的に沿って事業を行ってきましたが、米価の下落や、原油・農業資材の高騰等の影響により、第一期五年間の総合収支は黒字とはなりません。

しかしながら令和四年度は冬季間において除雪・防雪柵設置等の業務を行い、単年度収支は黒字化することができました。

第二期計画事業期間についても、セーフティネット機能及び農地保全等を目的とした活動をしつつ、株式会社である立場も十分考慮し、健全な収支となるよう支援していきます。

今後、担い手農家の受入れが困難になり、ファームの受託面積が増えることが予想されるので、機械の増設等を年次的に検討していく必要があると考えています。

村道勝常王領線の下樽川集
落内の歩道設置について

問 歩道設置についての経過報告と早期対応について考えを伺う。

答

下樽川集落内の歩道設置につきまして、令和四年度に整備事業調査を業務委託しました。社会資本整備総合交付金（通学路等の要対策箇所における安全確保の推進）を活用することができそうです。今後、地区並びに地権者の合意形成が整えば、測量設計・積算・用地交渉等を経て整備工事着手となりますが、財政負担についても充分考慮しながら事業を進めていきます。



歩道設置要望箇所



上記QRから動画でご覧いただけます。

高倉 好博
議員



本村における諸問題に対する対策について

人口減少対策について伺う。

答 一移住定住の促進として「若者定住促進

答 「移住定住の促進として、若者定住促進事業補助金等」や首都圏イベント等において本村の魅力を発信し移住の促進を図り、現在までに補助金を5世帯に交付、県外から3世帯4名の移住がありました。

「出生率の増加」として仲人ボランティアの育成等を支援し、結婚を望む方の支援をしています。

問 子育てに関する対策について伺う。

答
子育て家庭や妊産婦に寄り添い、安心



ふるさと回帰フェア

問 村民の健康と医療体制の充実に向けた

村民の健康と医療体制の充実に向けた対策について伺う。

答 本村では、健康寿命の延伸と健康格差

答 命の本村では、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を実現するために、「生活習慣病の発症予防」と「重症化予防」に重点を置き、村民の健康のための施策を計画的に進めています。また、広報ゆがわくにおいて「転ばぬ先の体づくり体操」や「口腔体操で、誤嚥性肺炎の予防」等の健康のための運動を紹介しています。さらに、集落に向いての介護予防事業、通いの事業やミニデイサービス事業等、病气や介護にならないための事業を実施しています。

問 福祉活動の充実に向けた対策について

向けた対策について
伺う。

今年度のスポーツ大会参加状況等について

答 福祉・保健・教育関係との連携を図りながら、地域福祉のための施策を計画的に進めています。

高齢者支援事業では、移動手段支援として、高齢者タクシー及び路線バス利用助成券の交付、冬季暖房に必要な灯油購入の交付を行っています。

質問 ポーツ活動の達成について、また、生涯スポーツに集落及び個人の参加状況について伺う。

【教育長答弁】

答 まず、集落でのスポーツ大会の参加状

答 まず、集落での状況についてですが、6月の壮年ソフトボール大会を始め、5つの大会を計画してまいりました。各大会ともコロナ禍により数年中止していた経緯もあり、参加は5集落程度でした。4年ぶりに開催を予定し、実行委員会と準備を進めていた村民運動会につきましては、猛暑による熱中症対策を考え、残念ながら中止とさせていただきます。

個人でのスポーツ大会参加状況につきましては、村



村民テニス大会



上記QRから
動画でご覧に
なれます。

民ハイキング・村民グラウ
ンドゴルフ大会・村民テニ
ス大会・村民ゴルフ大会を
実施し、多くの方に参加し
ていただきました。
生涯スポーツ活動の達成
にコロナ禍により、ここ3年
間に活動することが出来ませ
んでした。5月から5類に
移行されたことにより、人
数制限の撤廃や感染症を理
由にした中止はせず事業を
実施しました。昨年度より
ニュースポーツ体験会を試
験的に実施していますので
これからの実施していきます
に、参加できる環境づくりを
行っていく予定です。

村政を問う

一般質問

12月定例会

廣川 文夫 議員



【津湯川ファームの今後について】

問

施設整備について、今後どのように進めて行くのか伺う。

答

今年度は利用権設定と基幹作業受託を合わせると30ヘクタールを越えており、現在所有する農業機械でこなせる限界を超えようとしています。補助金を活用し農業機械の整備を進めます。農機材の整備を進め、格納する施設ですが、昨今の農業資材の高騰等を考慮すると、

湯川ファーム単独での施設建設は困難なため、JA津湯川は、倉庫や敷地を借用しています。この状況がよいとは考えており、今後も現在空き施設も含め、検討しているところです。

【地域学校協働活動について】

問

地域学校活動本部が今までどんな活動をしてきたのか伺う。

【教育長答弁】

答

令和5年4月の地域学校活動本部立ち上げに伴い、第1回目の会議を4月に開催し、活動計画や活動内容等を協議しました。

6月に開催中止になった地域学校協働本部推進委員会を10月に開催し、上半期における各小学校・幼稚園の進捗状況と、今後活動の予定の支援について報告を受け、共通認識を図りました。地域学校協働活動が教育課程の中で更に充実・活性化されるよう、各小学校・幼稚園に助言指導を行い、地域学校協働活動本部会議を2月に開催する予定です。

【教育環境について】

問

小学校の統合について、どの考えを伺う。

答

現在、湯川小学校の児童数は、令和4年度から「小学校の在り方」を置いて、委員の意見を聞き、賛成や反対の意見が深々あり、今後更に議論を深めていく必要があると考えています。令和6年度には、この間に公表する予定であり、村民の意見を集約して、小学校の在り方について検討していきます。



勝常小学校(上) 笈川小学校(下)

【広報活動について】

問

教育委員会の会議内容や教育ポータルサイト等を利用し、村民への情報発信すべきと思うが、考えを伺う。

【教育長答弁】

答

教育委員会では、村民への情報発信を積極的に活用しています。村民へ情報発信を促すため、ポータルサイトの活用を推進しています。村民へ情報発信を促すため、ポータルサイトの活用を推進しています。

【産業の振興について】

問

会津縦貫道周辺の開発の考えを伺う。

答

会津縦貫道周辺の開発については、道路の整備や、地域の活性化を図るため、積極的に進めたいと考えています。また、地域の活性化を図るため、積極的に進めたいと考えています。

【複合施設建設について】

問

複合施設建設検討委員会は今、現在どこまで進んでいるのか伺う。

答

6月に第1回委員会を開催し、7月に第2回委員会を開催し、複合施設の建設について検討しました。また、地域の活性化を図るため、積極的に進めたいと考えています。



湯川北IC付近



上記QRから動画でご覧いただけます。

12月定例会

片桐 英子 議員



問 6つの公約の具体化に向け、新年度に
取り組む内容は何か伺う。

答
掲げて私は6つの公約の

皆様から信任を受け当選しました。事業ごとに進捗のスピードは変わりますが、どの案件についても歩みを止めることなく、実現に向けて全力で取り組んでいきます。

新年度予算編成にあたり子育て支援として掲げた小学校の学校給食費の無償

A black and white photograph of the Togakura Village Child Care Center. The building is a long, two-story structure with a dark, tiled roof and multiple windows. In front of the building is a fenced-in area with a low white fence. To the right, there are some utility poles and wires. The foreground is a grassy field. The text "湯川村保育所" is overlaid at the bottom of the image.

問 米の高温障害による品質悪化や収量減る予想されるが、農業収入の減少が村の対応について伺う。

答 今年とは異常なほど高温の日が続き、全

国的に稲の高温障害が問題となつています。本村においても例年に比べ一等米の比率低下や収量減が懸念されておられ、それに伴う農業収入の減少について注視しています。

一方で、今年度から湯川

高齢者の「聞こえ」の確保について

米コシヒカリのブランド化
事業を開始し、戦略的に湯
川米の付加価値を高める取
り組みを進めています。新
ブランドのロゴマークを入
れた米袋作成、福島大学に
依頼し、美味しさの要因を
科学的に分析し、県内外での
実証販売会やテレビを通じ
て、新ブランドの知名度を
上げ、販売力強化を行いました。

問 加齢性難聴対策のアンケート結果、また加齢性難聴の予防・早期発見・補聴器装着への支援の必要性について伺う。

答 総合健診の際に聞
こえのチェックシ―

トを実施し、「自覚症状がある」と答えた方は全体の約56%でした。聴力の低下がみられる方に対しては、医療機関受診を勧めています。

医療機関未受診者や社会参加が辞めたり、人との関わりがなくなったりしている方が家庭訪問を行い、実態把握をして、早期発見、早期治療へ繋げていく考えです。また、障害者手帳の交付対象とならない難聴者の方に対する補聴器購入助成事業については、今後調査

除雪対策について

研究していきたいと考えています。

問 高齢者のみの世帯への除雪支援及び村

内の道路事情に精通した除雪作業員の確保について伺う。



【教育長答弁】

答 令和5年3月に湯川村と日本生命

保険相互会社郡山支社との
包括連携に関する協定書」
を締結しています。

「議員お質しの協定内容は
「樹木名ブレート・木のし
おり寄贈」事業と思われるま
す。日本生命保険相互会社
では、ニッセイの森の間伐
材で作成したブレートや木
のしおりを学校等に寄贈す
る事業を行っておりますの
で、村内の幼稚園・小中学
校での森林環境学習、木育
等に取り入れられないか検
討していきたいと考えてい
ます。

日本生命との連携協定について

問 協定内容に「植栽名の表示」項目があるが、村で管理する樹木に植栽名を表示する考えはあるか伺う。

答

答 支援対象世帯を選定し、職員6班での除雪支援体制で対応しています。対応する職員数に限りがあるので、実際に対応する際には都度状況等を勘案しながら対応を決めています。

除雪作業員の人材確保につきましては、8名を採用し除雪作業を行います。実際の作業に備え、除雪には



上記QRから
動画でご覧に
なれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

三澤 榮二 議員



旧水源地の環境整備と将来の展望について

問

水源地の利活用について伺う。ソーラー発電の設置等は如何かと思うが見解を伺う。

答

旧水源地は平成24年度の会津若松市との水道事業統合により簡易水道水源地としての役割を終え、普通財産となりまし



旧水源地

た。

その後、門田幹線用水路の改修に伴い、勝常地区へ冬季間通水が出来ない状況になったため、令和2年度より東北農政局会津南部農業水利事務所が旧水源地から中ノ目付近までパイプラインを埋設し、通水を行うことになりました。その際、再度水源地として利用するため、普通財産から行政財産へ再び変更されています。使用目的が定められている行政財産につきましては、目的外の用途に使用できないことから、現在その他の事業への利活用について考えておりません。

村所有地の使用許可について

問

賃借に関する法的根拠と、使用許可を受けた業者と住民とのトラブルの状況把握について伺う。

答

地方自治法及び湯川村財務規則において、行政財産はその用途又は目的を妨げない限度においてその使用を許可することが出来ることとされています。さらに、湯川村財務規則内において、村以外の者にその使用を許可することが出来る要件のひとつとして、「国、他の地方公共団体その他の公共団体又は公共的団体において、公用若しくは公共用又は公益を目的とする事業の用に供するとき。」と定められています。今回トラブルがあったとされる事業者につきましては、福島県会津若松建設事務所発注の会津若松熱塩温泉自転車道線の道路橋梁整備工事のための資材置場に使用したいとの申請でしたので、この規定により使用許可を出したものであり、その他

の者への行政財産使用許可及び法定外占用許可等についても、法的根拠に基づき適切な事務執行を行っております。

次に、状況の把握についてですが、村民より大型工事車両の通行によって村道が傷んだとの連絡がありましたので、総務課・産業建設課職員が現地へ赴き状況の確認を行いました。工事発注元の若松建設事務所へ連絡をし、当該事業者への指導を行っていた状況は改善されたとの連絡を受けています。なお、この事案につきましては、地元の行政区長へも連絡を差し上げています。

たから館の看板設置について

問

たから館の看板が確認できない、観光客も戸惑うという声があるが、案内看板の建て替えについて伺う。

答

たから館の看板は、令和2年度に3箇所設置しており、観光客への案内のひとつとして、当

該施設のチラシや湯川村ガイドマップにも地図を掲載しています。看板についてはまだ新しく、大幅な劣化も生じていないため、現時点において建て替えは想定しておりませんが、いただいた意見を踏まえ、ガイドブックの見直し等については検討してまいります。



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

斎藤 賢一 議員



小学校のプール改修について

問 両小学校のプール、安全に授業を行うのが、大規模改修をするのか伺う。

【教育長答弁】

答

両小学校の老朽化が進行し、プール等の設備が老朽化しているため、大規模改修を行う必要がある。

児童の安全を確保するため、プール等の設備を改修する必要がある。令和6年度と判断し、大規模改修を行う。

学校施設整備環境改善交付金を財源として、改修を実施していきます。

中学生ICT講師について

問

本村の小学生、中学生の学習タブレット端末の使用頻度を全国平均との対比を含め伺う。

【教育長答弁】

答

タブレット端末の活用状況を令和5年度の調査結果を見ると、1日1回以上を6割、1週間3回以上を9割と、本村の小学生、中学生の学習タブレット端末の使用頻度は全国平均より高い。

問

矢祭町で中学生が、ICT指導役を担う「デジタルリーダー」の取り組みを公表したが、本村にも導入する考えはあるか伺う。

【教育長答弁】

答

中学生がパソコンやスマートフォンを使い、個人情報を保護し、情報リテラシーを高めることが重要である。本村でも、デジタルリーダーの取り組みを導入する考えはある。

教育委員会では、中学生のデジタルスキルを育成するために、デジタル人材の確保を調査している。

公共交通システムの構築について

問

高齢者・福祉タクシー券を増額する考えはあるか伺う。

答

「福祉タクシー」の利用促進を図るため、高齢者・福祉タクシーの増額を検討している。

料金体系や交通弱者の状況を勘案しながら検討している。

問

国で検討している新公共交通システム（ライドシェア）についての見解を伺う。

答

村では新たな交通システムについて注目している。

問 各集落内で防災訓練を行うべきと考えられているか伺う。

答

各集落内では、防災訓練を実施している。



消防団活動

問

消防団の処遇改善について、地域の待遇改善について伺う。

答

消防団の処遇改善については、地域の待遇改善について検討している。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

篠竹 正弘 議員



住民サービスについて

問

住民・高齢者等の日常生活に欠かせない買い物支援の具体策について伺う。

答

本村においては、高齢者などがいままでも住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく事業として進めています。その中で、高齢者を支える地域づくり

問

村民の憩いの場を兼ねた「村営スーパー」事業についての考えを伺う。

答

いわゆる「買い物弱者」の問題は、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている方々にとって、過疎地域に限らず、都市部にとっても大きな社会問題となっています。本村においても、高齢化の進行と農村地域という特性上、スーパーや日用品店までの距離が遠く、交通弱者、買い物弱者の方が増加することが予測されます。宅配や買い物代行、配食サービス等、様々な方法があり、村営スーパーも新鮮な食品

問

湯川産米PR事業（お米券）について、今年度は配布しないのか伺う。

農業振興基金について

答

湯川産米PR事業は、村内非農家の方々に湯川米を食べてもらい、その美味しさを広くPRしていただくことを目的に、平成28年度から令和4年度まで実施し、一定の成果を



住民活動の推進について

問

「村長との対話の日」を含め、住民との対話・コミュニケーションが大切だと考えるが見解を伺う。

答

行政の基本は、村民の皆様のご意見に耳を傾けて運営すべきものと思っております。そのため、多くの村民の方から様々な意見や要望をお聞きし、村長として事業の提案や行政運営の方針を打ち出し、議員の皆様との審議を仰ぎたいと考えています。

「村長との対話の日」の今後のあり方についてであります。今までのように特定の日を設定することなく、村民誰もがいつでも村

得られたと認識しています。今年度からは湯川米コンヒカリのブランド化事業を開始し、戦略的に湯川米の付加価値を高める取り組みを進めています。新ブランドのロゴマークを入れた米袋作成、福島大学に依頼し、美味しさの要因を科学的に分析、県内外での実証販売会やテレビを通じて、新ブランドの知名度向上や販売力強化を行いました。

長室に気軽に足を運んでいただけるような、そんな環境づくりをすることがとても大切であると考えています。令和6年1月より、特定日を定めることなく、オープンに、いつでも訪問していただけるよう、広報ゆがわ1月号にご案内を掲載し、開かれた、村民が主役の村政運営を積極的に進めていきたいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。



上記QRから動画でご覧いただけます。

農業法人先進地視察

経済常任委員会

副委員長 廣川 文夫

経済常任委員会所管調査を新潟県十日町市の株式会社「千手」にて実施しました。農家の高齢化や後継者不足が問題化しており法人化が必要になってきました。千手地域機械施設利用組合を母体として平成17年に株式会社千手が設立されました。

経営面積約150haを30人の社員と34人のパートで管理運営をしています。育苗・



経済常任委員会研修の様子

田植え・収穫・糶摺りと一貫生産体制で米の販売。又、いちご・かぼちゃ・白菜の生産し加工品等の販売を行っています。

人材育成では、農作業指導・仕事に必要な各種の資格を会社経費で取得させ、研修会等へ参加させています。

湯川村の株式会社湯川ファームも千手を参考にしながら経営の改革を進め生産体制の充実を計り湯川村の農地を守って欲しいと思います。



経済常任委員会研修(千手)集合写真

子育て支援先進地
三条市子ども若者
総合サポートシステムを視察

総務文教常任委員会

副委員長 片桐 英子

三条市は子育て支援に力を入れており、子どもの成長に合わせた切れ目のない支援をするために子育て支援課を設置。ここで妊娠・出産・乳幼児期から学童・青年期の就労・自立まで、一貫して個に応じた必要な支援を受けられるシステムです。本村では保健センターで担当している妊娠届けや赤ちゃん訪問、乳幼児健診もこの管轄で、支援対象



子育て拠点施設すまいるランド(三条市)

者は乳幼児期から35歳迄。支援内容は被虐待、すべての障がい、不登校、非行、引きこもり等です。これらに対応するために、職員は勤務時間外勤務が多くなり人員増が求められているそうです。

又、保護者がパソコン・スマホでいつでも気軽に相談できるよう、妊娠届け時にライン登録を勧めているそうです。

人口規模は異なっても、三条市のシステムを参考に本村としても組織機構を見直す時期が来ているのではないのでしょうか。



総務文教常任委員会研修(三条市)集合写真

小学校プール施設の現地
視察を実施

公共施設等整備調査特別委員会

委員長 伊藤 幸喜

12月定例議会において設置された公共施設等整備調査特別委員会の所管事務調査として、12月25日(月)小学校のプール施設視察を行いました。

委員会では、出来るだけ早期に子ども達が安心・安全な水泳授業が受けられるよう、引き続き調査・検討していきます。

公共施設の老朽化が進む中、行政側から出された案件を検討するだけでなく、議員自ら勉強をして現場を確かめ、無駄な税金投入にならない為に、活発な委員会活動を目指していきたいと思ひます。



プール施設調査

湯川村議会の主な動き

10月29日	会津坂下町消防団・湯川村消防団令和5年度秋季連合検閲
11月1日	戸ノ口堰土地改良区令和5年度五穀豊穰感謝祭・式典・祝賀会
5日	令和5年度湯川村教育委員会表彰式並びに第9回湯川村こがふるさと小中学生作文コンクール「少年の主張発表会」及び作文コンクール表彰式湯川村産業文化祭2023
6日	議員全員協議会
7日	町村議会事務局長研修会
8日	令和5年度国道121号改良促進期成同盟会総会及び中央要望
8~10日	定期監査
10日	第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会湯川村選手壮行会
12日	湯川村消防団秋の防火パレード
13日	全国過疎地域連盟第56回総会
14~15日	湯川村議会常任委員会合同行政調査 写真
21日	湯川村議会経済常任委員会所管事務調査(会津湯川ファーム)
22日	令和5年度湯川村戦没者慰霊祭
24日	例月出納検査
28日	第34回両沼地方町村議会議員大会決議事項の国に対する要望活動
29日	第67回町村議会議長全国大会・研修会
12月4日	議会運営委員会
	議会全員協議会
	総務文教常任委員会
5日	自治功労表彰式 写真
9日	湯川村チーム合同報告会
10日	湯川村婦人消防クラブ総会
	ゆがわウインターイルミネーション点灯式
12~15日	第563回議会定例会
15日	公共施設等整備調査特別委員会
16日	あいづ塩川湯川ライオンズクラブクリスマス家族会
	結成45周年記念パーティー
22日	例月出納検査
25日	公共施設等整備調査特別委員会所管事務調査(箕川・勝常小学校プール)
26日	令和5年度12月会津若松地方広域市町村圏整備組合
	議会臨時会
27日	金山町議会正副議長就任挨拶来庁
令和6年	
1月4日	令和6年湯川村新春のつどい 写真
7日	令和6年消防出初式
11日	会津総合開発協議会調査研究事業(講演会)
12日	議会運営委員会
	議会全員協議会
16日	第564回議会臨時会
17日	交通安全祈願祭
19日	湯川村選挙管理委員会新年会
23日	湯川村農業委員会新年会
26日	会津東部土地改良区新年会
	例月出納検査



議会中継 録画配信のご案内

湯川村議会では、年4回(6・9・12・3月)の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。

一般質問は、行政に対し疑問点をただし、所信の表明を求め、政治姿勢や政策の目的・効果を明らかにさせるなど、議員の花形ともいえる議会活動の一つです。

スマホやパソコンで見ることができますので、この機会にぜひご覧ください。



議会広報広聴委員会

廣伊片	三	小
川藤	委	沢
文幸	員	榮
夫喜子	三	市

新型コロナウイルスも5類になり、安心して生活できるようですが、今度はインフルエンザが猛威を振るい、日常生活に予断を許さない状況であります。村民の皆様には、今年も健康第一で日々過ごされたいと思います。(伊藤幸喜)



大谷翔平選手から日本国内の全小中学校に野球グローブが贈られ、湯川村の両小中学校にも届きました。「野球しようぜ!」野球に拘らず、これを機に子ども達がスポーツに興味を持ってもらえれば大谷選手の願いも叶うと思います。

編集後記